夕刊
十二月八日發行
發行所 磐城新聞 合資會社
(日曜祭日翌日休刊)

# 晩秋記

高瀬勝男

まもなく山に雪が見える思ふと、なんだか寒さが身にしみてくる。

己年十二月生れの私が寒いのはいやだ。夏は夏でなまけ勝ちで居て、晩秋寒くなると又横着な氣持が起る。一歳といふ奴は心懸てる内に過ぎてしまふ。賀狀に今年こそはと誓いて知友先輩に配つて今年、目に見えた仕事を一つもやつて居ない恥しいことだ、まもなく日の暮れる樣に年が暮れて狐狸に誑かされてる譯のものでもないが、無保にすれば一年も、一秒に似たりか

勉强のうち、日に盜し、月に盜し、年に盜し、安逸惰眠を己に戒しめてる私が年々飲酒、夜遊、蔭口、晩秋、おのづと戰くを覺ゆの感を深くする男に輕蔑をもち、女に會し戀心あり、此處に卦を起、平穩無事。曰く有卦の相逢た私の不勉强に吉卦だが眞劍な生の前隨分勝手な氣持だ、日誌を書くがせめてもの反省の積りで居たい。だが思想の垢によごれ乞食がきてるぼろよりも、きたなくなるといやになる。

晩秋、吾子の冬じたくに陽の速さをうらみ、大安日にお祝事をした、やがて語り草は花火がなつた夜、幾十人の人が劇場に客となつて一月から十一月の今日迄人達は、私にくらべて確かに意義の豐富さをもつ羨やましいことだ。新編を身に裝つて客となる娘、結婚は娘達に、生活が創造でなくとも消費の生活を致へ、金銀を必須條件とする希望があつて樂しみ、木枯しが吹こう、風がつめたくならう、裸の梢には寒々な半月が懸る人達は新聞の記事に興奮し、悲觀し、又流行と幸福に鋭敏になれる。

子等は何を覺えたらう。無邪氣でありながら町の子等は有邪氣な大人以上に遊ぶことに、求めることに、もう爭奪獨專、こうかつ惡とたつてた禁斷が準備され恐るべきことだ、でもいい

やがて大人になることだらう、この子等には親がついてゐる、そして先生も居る筈だ。子供のもつ盜心であつた、大人になつてこの盜心は變な形に己を買ひ被り、私は今散落する木の葉よりも慘めに淋しくなつてきた、純眞であるべき筈の人間が、命ちするこう慢から町の子供になり、大人となつて晩秋日に三食四食、折々果實屋の頭に新果欣然とならべば忽ち介慾をおこし、珍客を迎へ、酒と料理を註文する、和食より洋食に適を示す私である、だが幾品の料理を知る?かだ節々のものを胃嚢におくり、脫糞五色あつたら此處にだけ私は快々となる。

(完)

## 刹那

ブラクナス 關研治

冬が來た
貧者の骨髓にこたえる冬が來た
冬來たりなば春遠からず?
然しそれは時間的な諦めだ
氷霜は殺人的だ
空腹は勞働の封鎖だ
嘘
人間が空腹を痛感する時

## 時代警語

○雀の千聲よりも鶴の一聲……(俚諺)
小禽のよく百鳥の聲に眞似するは人の小巧にして大智無きものと一般で他の鳥の聲を(囮)出すよりも自分獨特の嗁き聲を發した方が良いのである……

## 罪惡を生む

……
嬰兒は泣く
邪氣無い幼兒は哭く
晩聲だ
人生に疲れ切つた男が女が
蒼白な顏に泣いてゐる
嘘
肉のひしかれの涙
服從の美德?
否だ斷じて否だ
服從の末路
生欲は人間の本能だ
人間が空腹を痛感する時
罪惡を生む。

## 影を慕ひて

諭田勝江

たとへ惡夢で
あるにしろ
愛する彼の夢ならば
うれしきものを
見させ給ひと
夜 やすむとき
祈る私の心をば
あゝ彼は
よもや知るまじ。

## 社會の今日

12月9日
△平治の亂(平治元)△夏目漱石歿す(大正五)△京城の學生運動激化、六百名檢束さる(昭和四)△軍縮會議全權隨員正式に發表△大戰當時のイタリー首相アントニオ、サランドラ氏死去△ノーベル平和賞、米國のヂエーン、アダムス女史及ニコラス、マーレ、バトラ博士に授與に決定(同六)

○

疑獄々々ブルジョア階級の崩壞が、新聞紙上に波うつてゐる　青井要

下り眉歎けるらしき雪だるま、けだしや君の作りけるかも　山本軍作

## 拈華微笑

◇文壽の知慧から出た答辯。相手の腑に落ちぬとある
◇藝者の寄宿舍ぱ入り。五人●の自慰が今度の事件に祟る
◇教育者の立場から横へそれた戯拳制裁
◇ばんちうこんだい。と憤慨する民衆
◇今日も毆打事件の話に明けて話に暮れた
○……○

## 講談 お蘭陀お蝶 (202)

渡邊默禪作　布施長春畵

『飛んだことになつたなと?』

と龍馬は不審の瞳を睜つて

『如何いたしたといふのか ふむ先刻來戸の隙間から洩れた香の匂さては病死でもいたしたのか』

とその顏をみつめた

『いえ、死にでもいたしましたんなら未だ諦めやうもござりまするが、さ、昨晩のこと』

と與平は眼を拭つて

『ど、ど、泥棒が這入りましてな、む、娘を寢床から引さらつて、ど、何處へ失せたか行方知らず、そ、そればかりか、か、嬶ア衆が止めるはづみに急所を蹴られてとう〳〵其の場で、い、命を奪られましてござります』

と又泣き出す

龍馬は勿論、眞輝朝臣も意外に驚ろかれた。

『それは氣の毒な、龍馬、働はつて遣はせ、何者の仕事か、さて〳〵不屆な奴ぢやのう』

『御意にござりまする』

龍馬は答へて更に與平の方に向ひ

『こりや爺や、シテその賊はいかなる者か穿鑿の手懸はないか、人相風体等は甚麼であつたか、その時の樣子を聢と見屆けた者はないか』

と早言に訊く

『いえ、そりやア最う、村の名主さまや、御役人いろ〳〵なた方にお縋り申しまして、手の届くだけは調べもして貰ひましたし、捜しもいたしましたがまるで神隱しにでも會つたやうに何處へどうなつたものやら一向に手懸がござりませぬ。人相風体と申しましたところで、灯火の消えた眞暗闇見て居た嬶アどんが殺されて了ひましてからには、死人に口無しで是れも根つから見當がつきませぬ』

與平は失望の太息を吐いた。

『それは困つたものぢやのう』

龍馬は腕組して

『少々なりと手懸りがあれば、又た如何樣にいたして取戻して遣はす工夫が無いではないが、肝心の穿鑿の糸が切れたとあつては殘念ながら助力いたす途がない いや花賣娘の道しるべとは一段の風流ぢやと御意があつたので自慢にお蝶を頼まうと思つたのがこりや飛んだ無風流になつて了ふたわい』

財囊から若干の金を出しそれを紙に包んで

『與平御休息の茶料がはりぢや、香奠と思つて取つて置け』

『いえ、飛んだことでござります、昨日もまア多分に娘が頂戴いたしましたのに其の上又たも戴きましては……いえ〳〵こりやお貰ひ申しませぬ』

と押戻す下からふと憶ひ出したやうに

『旦那さま、有ります〳〵手懸りがござりますぞ』

といふ

『ハア、有ると申すか、速かに話してよからう』

龍馬は眉宇が揺いた

『へい、それはアノ活神さまのお諭でな』

『なに、活神?とは何ぢや!』

與平は前夜江戸のた客を泊めたことから寂光坊に言はれたことを今日猿谷に出掛けて伺ひを立てたこと、寂光坊が特に祈禱をして呉れたこと、娘は今伏見に居るといふ判斷であつたことそれらを左も不思議さうに有難さうに語つた。

聞いてゐるうちに龍馬はそのひろい額に波を打せた明かな眼をくる〳〵させた忽ち堪へかねたやうにプッと哄笑して。

『與平、與平、その活神さまとやらは如何いふ事をいたせば、娘を取戻して遣ると申したか、さアそれを早う話せ』

促込んでいふ。

## ラヂオ

……九日……(金曜)……
仙臺 JOHK

△前七、〇〇 八、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇 氣象
△九、一〇H 料理獻立 (一、モイルデ、ブーフア、ラオリー 二、フイレット、ア、ラ、アメリカン) 宮城縣食肉協會 日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座 (盆栽の買方選方) 平松諒三
△正午 A 時報 氣象
△後〇、〇五H 掛合噺 (三段落し) 月廼家孝之輔 外
△〇、四〇A ニュース
△二、〇〇A 婦人講座 (デパートを通じて見た各國の國民性) 山本秀太郎
△三、四〇 氣象
△四、〇〇 ニュース
△五、〇〇A 受驗講座 (漢文) 塚本哲三
△六、〇〇H (子供の時間) 童話劇 (逢谷窟) 佐々木青…作 出演…HK子供會
△六、二〇A コドモのシンブン 村岡花子
△六、二五A 英語講座 (初等科) 岡倉由三郎
△六、五五 カレント、トピックス ハロルド、パーマー
△七、三〇B 國際時局特別講座 (日支問題に對する各國の輿論) 國際聯盟協會主事赤松祐之
△八、〇〇 放送映畫劇 (隱密七生記) 吉川英治…作 日活時代劇部、澤田淸 外
△八、四〇A 俚謠 (博多節からくり) お秀 外
△九、〇〇A 忠臣藏花曆 (和洋合奏 一、長唄集…近藤信一編曲 二、忠臣藏…松平信博作曲 近藤信一編曲) 富士管絃樂團
△九、三〇A ニュース 氣象

御料理 八千代
平町田町
電話三七五番

メリヤス類特價賣出し
ショール メリヤス 毛製品 その他!
特價品 豊富陳列
七五三祝 子供服 オーバー 帽子
ヤルツ
平四 電一四〇

人は武士●花は櫻よ
かをりは梅よ………
うなぎ料理は江戸川よ
うなぎの御用の節は!!
是非專門の……
江戸川へ
平町二丁目 電話五四七

平館
割引券(ワリビキケン) 二十錢券 一枚十五錢
平町土橋 (マルマン) 電話四八九(ヨヤク)

七五三に是非
大人になつてから小供時代の姿を見たいのは人情です。再び來らぬ幼少時代の可愛い御寫眞を撮へて保存してやるのは親さん方の御情けと思ひます。是非お宮參りの御歸りがけに御立寄り下さいませ。御祝ひの爲に當館も特に勉强致します。
平町才槌小路一番地 (田町通り)
ライト寫眞館
電話五三五番

開業披露
齒科一般…口腔外科
四倉町仲町 電話一二四番
日本大學齒科醫學士 長谷川四郎

祝七五三
た祝記念として特に勉强致します!!
大野寫眞館
平町仲田町

紅茶代用品 紅ヒ
即席志るこ 出現
何處の御家庭でも熱湯さいあれば即席に出來ます尚一分間炊けば一層風味良く出來ます。在來の晒あんとは全々違ひ日向臭く有りません。小豆天賦の風味芳香と榮養分完全に保有されてあります。年末年始の贈答品には好適當です。
一袋正量三七五瓦入(約五人分)金三十錢
贈答品函入 金一圓
製造發賣元 日進堂 平町田町 電一八六
(特約販賣店募集)

吉田眼科病院
平町紺屋町

磐城共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙郎 (自宅)電話一二四番
内科 (醫學博士 石山謙郎
小兒科 (醫局員 佐久間粹
外科耳鼻咽 (醫學博士 桂重次
喉科皮徵科 (醫學士 有馬勇二郎
產婦人科 (醫學士 五十嵐雄二
(醫局員 佐久間粹
X光線科 (醫學博士 石山謙郎
(技師 工藤慶造
衛生試驗所 (醫學博士 石山謙郎
(技師 高後利雄
藥局 (藥劑士 吉本孝平
△診療時刻 午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非す
平町 磐城共濟會 電話六四一番

日本一の靈湯草津の元泉に化學的操作を加へたる
家庭温泉御案内
草津温泉 湯の素
家庭風呂に外用に! 冬の保健衛生に最も適す
心地よく温まり絶對に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其他一般消毒用として特効あり。
定價 一〇〇瓦入 凡五日分 五十錢 / 二五〇瓦入 凡十二日分 一圓 / 六〇〇瓦入 凡三十日分 二圓
其他浴場用旅館用大德用あり、試用分無代進呈いたします。
石炭の御用命と共に是非御使用を御奬めいたします。
海岸線代理店 石炭商 伊藤軍二商店 平町一丁目電話三四九番
特約販賣募集 發賣元 草津温泉研究所營業部
各町村一ヶ所に限る御申越あれ特に御相談に應す。

斷然値下斷行
何が梅月をそうさせたか
其れは時代の要求である。

| | |
|---|---|
| 上酒 | 十二錢 |
| ビール | 卅五錢 |
| おでん一人前 | 十五錢 |
| おでん定食 お茶めし おしんこ付 | 廿五錢 |
| 天どん | 十五錢 |
| 親子丼 | 二十錢 |
| 牛めし | 十錢 |
| カレーライス | 十錢 |
| カレーうどん | 十錢 |
| 支那そば | 十錢 |
| うどん きそば | 五錢 |
| しるこ | 七錢 |
| ぞうに | 八錢 |

其の他季節向料理何でも市價の五割安
平驛前通り 梅月食堂

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物 (久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は(久)の生命なり

# 眞意が判斷し兼ると 更に具体的答辯を迫る
## 磐中生徒毆打事件稍々硬化

昨七日橋本校長から『近い內満足するやうな回答する』旨の言質を得た關內會長以下の磐中同窓會代表は午後四時からマルトモホールに於て評議員會を開き會長關內正一、副會長諸橋元三郎、評議員清水廣政、山崎清三、新田目春松、加藤丈夫、井上貞治、柴田德二 幹事一同諸氏出席協議の結果一、満足するやうな回答。と丈けでは極めて抽象的で其間の眞意を捕捉し難いので更に一歩を進めて具體的な答辯を求むる事一、校長としての責任が頗る分明でないから之の點を確むる事を決議し今八日午後一時半より正副會長と評議員代表として山崎清三氏を加へ橋本校長と會見をする事となつたが之れが該事件の大局を支配する最後的會見と觀られて居る

# 磐陽會(福島)も起つ
## 『輕擧を戒む』を決議

福島市在住磐中卒業生よりなる磐陽會では今回母校に捲き起つた事件を遺憾としこのほど早月に總會を開き『母校の輕擧をいましむ』との決議をなしたが六日夜來平した副會長福島モレター專務大森義一氏は七日正午左の如く語つた

母校のため福島でも高商の濱島氏を始め卒業の方々が種々心配して、總會を開き母校の輕擧を戒める決議をしました、この輕擧を戒めるといふ意味は紛擾の擴大を防ぐといふことではなく愼重に研究した上母校內に除去せねばならぬ事實があればそれを除去しなければならぬといふのである

# 生徒動搖？
## 授業統制を缺く

磐中では問題惹起以來往々生徒間に不統制を來し成りゆきを憂慮されてゐるが昨七日の會見で校長の回答に稍々明確を欠く處あつた爲授業に實の入らざる學年もあるらしく今八日の如き午前中から腹痛其他と稱して校門を出る者が數名あり橋本校長は横井教諭の擔當時間に修身を講義しつゝあると

# 商工研究會

平商校の商工研究會は昨七日午後七時から庶民金庫樓上に於て開催し武川教諭の講演後質疑應答をなしたが質問中には時節柄大に研究を要する難問もあり得る處が少くなかつた

# 大雪稻作況
## 農試石城分場發表

農事試驗場神谷分場栽培水稻昨七日大雪現在の作況は

| 種別 | 反當容量(升) | 升重量(匁) |
|---|---|---|
| 早生 | 一、九四 | 三六六 |
| 中生 | 二、三〇 | 三六〇 |
| 晩生 | 二、七九 | 三七六 |
| 平均 | 二、三四 | 三六七 |

で二百十日前は氣温高く雨量適當であつたゝめ成績良好で豊作を豫想されたが其後氣温低下し且つ降雨が多かつたので何れも倒伏せるもの多く甚だしく登熟作用を妨げられ平年より減收したに加へ收穫季以後降雨頻繁であつたため籾の乾燥狀態不良で玄米置量も著しく減少した

# 呆れた農村女性
## 闇の大立廻りから 平署に引致さる

玉川村野崎みつ(二四)同鈴木よし(三三)の兩人は六日午後七時頃同村大原たまき鑛泉渡邊大方で入浴中些細な事から口論の末よしはみつの爲に毆打された口惜しさからみつの歸りを待ち伏せし同人が背負つて居るみさ(二)諸共散々毆打し闇の田圃路で女同志とは思はれぬ迄に大格鬪中この喚き聲を聞いて駈けつけたみつの妹しづ(一六)をも毆打し足其他に負傷せしめたので目下關係者を召喚平署で取調中

# 磐中學級復活希望

磐中では昨年度から五年の一學級を減じ四學級となつて一級平均四十六名を收容してゐる狀態で統制上遺憾の點が尠くないので一部有志は來年度の復級を唱へて居ると

# 小名校增築
## 工事均霑方を 關係營業者が陳情

小名濱町では明年度事業として學校增築費一萬圓を計上實行する事となつたが之を特定の者へ一手に請負はされては多數の關係營業者が困るから是非該工事の恩惠に均霑せしめられ度い旨建具其他各方面營業者二百餘名から町役場へ陳情した

# 憤怒の形相物凄く 早合點の兇行
## 妻の出先で暴れた男 殺人未遂で送檢

內郷村御廐魚行商荒川淺次郎(四六)が妻ヨシ(三九)と同字下能日屁東海林五郎(四三)との仲を疑ひ六日夜妻の出先なる前記五郎方へ躍り込みスコップを揮つて同人に重傷を負はせた事件は平署高橋司法主任が嚴重取調の結果夫婦間には十九を頭に八人の子供があり同夜ヨシは御詠歌會の月掛金を集める爲同家を訪れたもので兩人間には全然醜關係の事實なく淺次郎は新割を持出した時から既に殺意があつたものと認め殺人未遂として今八日身柄送檢

# 磐中人國記 八
## 赤井嶽男記

△完成された人々

15佐波古直明氏(湯本)
醫學博士 廣島市產婦人科山陽醫院長

之亦磐中のレーゾンデートルを價値づける高材として斷然光つて居る一人である。氏に就ては筆者がいはらき時代の『俺の村』及一昨年の冬本紙に書いた『思ひ出草』中にも出てゐるので其の間蒸し返しの感はあるが之を再記する事を以て大に便宜とする

×

——スキー場と子供が出來るのを賣り物にしてゐる五色の温泉ではないが頗る人材名產の湯本温泉といふ母胎から比佐代議士を出した大正十三年から中二年置いて十五年の五月に婦人科の醫學博士佐波古直明氏を出した、卽ち年代記からいつて比佐代議士の次ぎに擧げるんだが前回の八木澤博士とは從兄弟の間柄であり且は共々杏林方面に似た様なプロセスを辿つてゐるので便宜上こゝで一席伺ふ事にする。さて物の書に祖先以來連綿たる古家なりと記された縣社温泉神社社司の家の長男として生れた博士の卵は幼來可なり丈夫で育つたらしい髮に數蕊の白を置いた廣島市山陽醫院長の佐波古直博士、當時を追懷して曰く小學校時代には成續の良かつた割合に操行點か良くなかつた、自分では左程にも思はなかつたがあとで當時の某先生に遇つたら君の小學校時代は中々きかなかつたといはれたよ雀の百まで踊り忘れずの筆法で今でも暇があればラケットを振まはす位の元氣は大ありさ。と來たもんだ、高等の三年の時に柔しい母親に死別したのでこの事が精神的にも物質的にも非常な打擊となつたらしい、今でも快活な一面處女の様に極めておとなしい處のあるのは當時境遇の激變によつて培はれた第二の天性とでも見るべきであるまいか、斯くして母親を失つた直明少年はその年に出來た磐城中學に入つたが殆ど婿様になる様な團体をした高等卒業の年長者に伍して行くには普大底の骨折りではなかつたさうである。四年五年は特待生で進み卒業の年二高三部の試驗を受けたが新設中學の卒業生として上級學校の受驗に適合する樣な教育を受けてなかつたのでその年は失敗に終つた。而も十名位の志願者中僅に一名だけ二高一部に合格したに見ても當時の試驗地獄が如何に血みどろなものであつたかを想像して呉れ給へと當人が述懷した事がある、翌々年の三十七年になつて二高へ入學したが當時恰もある事情のために家運衰微として振はずおまけに祝融子の見舞を受けて全財產は烏有に歸した。そんなこんなで學業の方も思ふ様に行かなかつたが但し劍道の方では同校の選手に拔擢せられ生徒仲ら に助教となつて天晴れ劍士氣取りをしたものであつた。(寫眞は磐中時代の博士、此項つゞく)

# 同情週間 助成會活動

平町共濟事業助成會では年末貧困者救濟基金として十日から一週間の歲末同情週間中各戶に同情袋を配布し一般から寄附を求むる事となつた

○○○○○

小名濱救貧計劃 町內居住貧困者の歲末救濟に關し近日中方面委員により活動を開始すると

# 江名町災害復舊費決議

江名町では災害復舊費一萬圓を決議し內若干の縣補助を仰ぐべく近日中出廨陳情する事となつた

# 年迫る 清算をかなづる街頭狂奏曲
## 師走の三つ一を過ごして宙を行く人々

……(H)……

▽△

呻吟！ 焦躁！ SOS！ 民衆を擧げて打續く不況の黒旋風に捲き込まれ、各種產業の萎微枯凋にそのドン底に喘がしめた記憶すべき年一九三二年も愈々清算の月に入つた、平町の商店街も『ストックの現金化』をスローガンとしてウキンヤ戰術に夫々意匠を凝らした狂裝飾は展開されて居る。

▽△

そして其の裝飾も人智の進步、販賣の競爭から、不況が齎した新風景を生んで居る、洋品店は、呉服店は目前に迫つた七五三祝に、或は縱、或は横と目も綺なる陳列をなし、こゝを先途と客足の吸收に躍起となつて居り。本屋ではおまけ澤山な新年號雜誌、五萬圓懸賞附八年日記と、その販賣に之亦腐心大童である。冬至も過ぎれば此の廿五日はクリスマスだ、氣の早い菓子屋では早くも店頭にクリスマス・プレゼントと大文字の下に片唾を呑む様な菓子を列べて甘黨員を喜ばせて居る。

▽△

智、瞳、足の月、師走も愆懸狂躁曲を奏でながら多事多端なる一年は清算されて輝やかしい、昭和八年の第一步を踏み出す段取とはなる。

(玲光生)

# 縣下の最高齡者が—勿來町に現存
## 百六歲の山名つる嫗 三越の延命長壽で氣を吐く

東京三越呉服店に於ては來正月を期し延命長壽の展覽會を開催することになり本縣に對しても百歲以上の高齡者を取調方照會して來たが目下の處百歲以上のものは四名で文政十一年六月三十日に生れた本年百六歲になる勿來町の山名つるさんが最年長である

# 殺人事件實地檢證
## 判檢事小名濱へ

去月八日夜小名濱古港に於て茨城縣鹿島郡波崎町秋刀魚漁船稻荷丸乘組員糸川金次郎(二四)が鐵槌を揮つて千葉縣銚子町岩金丸乘組員山口竹松(三八)の頭部を毆打し一週間後死亡せしむるに至つた事件に就き明九日午前九時平支部から荒井豫審判事上田檢事の一行が犯人同道實地檢證に出張すると

# 助成會へ寄附

平町古鍛冶町山崎清三氏は亡妣タケ媼の遺志に依り二百圓仲町朝日新聞記者川瀨貴世志氏は五圓を今八日平町共濟事業助成會基本金として寄附した

# 同じ旅館を荒す
## 二度目に捕はれた 白面の枕探し

平町二丁目館旅佐野屋方に忍び入り枕探しの最中取押

# 列車妨害公判

十六日平支部で勿來町大字四澤秋元道政(三七)同雇人鯉淵秋之助(三七)の兩名が七月二十八日午後八時頃錦村字中田地內常磐線鐵路に枕木を積み折柄進行し來つた列車に妨害をなした事件の公判は十六日官選千葉辯護士立會開廷する

# 幼兒二名を殘し 行路病舍に逝く
## 以前の妻へ引取方照會

宮城縣栗原郡神久毛村生れ鈴木吉太郎(三八)は數年前フトした事が原因で妻コイシ(三五)を離別し二女カツ(一〇)二男貫一(八)を連れ各地を轉々する內病に罹り最近大阪市の行路病舍で死亡したが親戚身寄もなく子供の引取人がないので現在長男喜一(四)を連れ內郷村宮澤炭鑛に選炭婦として働いて居るコイシに今八日平署を通じ所轄市役所から引取方の通知あつた

# 娘十八おふみ出奔
## 誘拐されたらしいと 實母から其筋へ捜索願

內郷村宮鬼ヶ澤三居住耶麻郡堂島村元沼六六生れ選炭婦キン長女吉田フミ(一八)は三日午前十時頃無斷家出したが誘拐されたらしいと實母から今八日平署に搜索方を願ひ出た

# 納稅組合表彰

小名濱町納稅組合では今八日午前十時から小學校で優良納稅組合に對する表彰式を擧行したが代表者次の如し

△一等—藥谷寅之助、比佐直祐、圓八十彌、金成精造、鈴木駒次郎、馬上兵吉、鈴木留吉、御代保三郎、佐川森彌、御代兵七、馬上龜次郎、若松惣吉、丹野一郎、堀越壽之助、鈴木己之助、佐川熊太郎、小宅勝之助、門井繁作、草野增太郎、藤社大一、大井川治太郎、西山直三郎、松本由之助、樽木篤夫、小松房吉△二等—野崎昇三郎、同長太郎

# 女學校出は なるべく使はぬ
## 電話姬採用方針

平局電話事務員は現在四十五名(內女學校出三名)で來春の卒業期を控へ履歷書を出す者が少くないが局では經費關係から三對一位の割合でなるべく高女出を採用せぬ方針であると

# 年賀狀
## 特別取扱ひ 廿日から開始

平局年賀郵便特別取扱は例年の如く來二十日より開始二十九日迄取扱ふが取扱數は好景氣の曙光が見出された折柄昨年より一割增の見込で二十日試驗の上二十名の臨時雇を採用決定するが經驗者には優先權を與へ二十五日頃から採用する筈で申込者は殆ど全部が中學卒業生であると

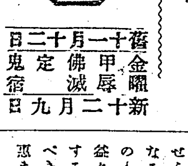
# 山火件數減少

平營林署では愈々火災季に入つたので之が防止に就て頭を惱ましてゐるが今年中の火災は曩に工費三千三百七十七圓を投じ設置した延長十萬餘米の豫防線を設けた爲僅かに七件損害四百六圓で昨年より四件を減じた

。。パラ 平町紺屋町菅沼里子(二)は昨七日パラチフスと決定隔離された

。。拘留 去二日平町月見町飲食店白土ムメ方で一圓卅五錢の無錢飲食をした上黑羅紗外套(價格十八圓)を搔つ淺つた住所不定無職樺太榮濱郡榮濱村魯礎前科三犯川部定吉(三八)は昨七日平區に拘留された

舊十一月十二日 金曜 甲辰 佛滅 定 鬼宿 新十二月九日



諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 外廻りの事には吉なれど內輪の事には注意▲二黑の人 身分相應の事には差支なく向上す▲三碧の人 豫想は至極結構かうなれ共時到らず進むに早し▲四綠の人 時運の開運するを待ちみだりに進むべからず▲五黃の人 目標は一本筋なり他に外れざる様注意せよ▲六白の人 じ他共に有利となる授け助けらるゝが大吉▲七赤の人 業績次第にばう張して基礎益々堅實味を増す▲八白の人 勞する所大なれば利する所亦多かるべき日▲九紫の人 天來の福運に惠まる日熱心努力は成功のかぎ

# 平町慶弔錄

△出生 四丁目二五双葉郡上岡村本岡門口三鈴木英一長女豊子 大工町一八酒井留吉四男和三

△死亡 白銀町一二諸橋良介(四) 研町一二佐々木喜代三(四〇)

高久病院 平町田町 (電話五一三番)
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽精 藥劑士 佐竹雄

十日 体温計の檢査日です お宅の体温計は？
設新檢查機
正確な体温計を御利用下さい……
毎月十日の檢査日を御利用下さい
度量衡計量器指定販賣所 西村屋藥局 電 三 番

市原醫院 平町田町本通
內科、小兒科 市原卯太郎
外科、一般、婦人科 市原陸郎
皮膚、梅毒、淋疾 病 市原三男
(入院隨意) 電話一〇四番

上田醫院 平南町
外科專門 X光線科
入院隨意(自炊の便あり) 病室完備 (電話一二九)

お醤油は……ヤマフル
醸造元 山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部一〇番 本店二七番)
味噌醤油 たひら正宗 鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎